

令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(国語)科目：(現代文B) 対象：(第3学年1組～7組)

科目担当者：(A組：□山 印)(B組：□山 印)(C組：□山 印)(D組：◇川 印)(E組：◇川 印)(F組：◇川 印)

教科・科目の指導目標	①標準的な評論文を読み、理解する力を養う。 ②現代社会における様々なテーマについて理解し、自分の意見を話したり書いたりする力を養う。 ③進路を決めるための様々な外部試験に対応できる力を養う。
------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>昨年度、1定期考査、課題テストで、読解問題、常用漢字、語彙および文学史の問題を共通問題として出題し、学年として学力の定着を図った。結果として、各回の若干のばらつきはあるが、読解問題の正答率は約70%、漢字約50%、語彙約60%弱、3学期に実施した文学史が約45%でやや低いものの、基本的な学習習慣、学力については着実に身につけてきていると考えられる。また、記述力についても一定程度に向上していることが確認できた。</p> <p>2学年と連携し小論文指導を実施し、小論文模試を受験し、生徒は積極的に取り組み、基本的な書き方考え方を身につけた。</p>	<p>①毎時間の小テストにより、漢検準2級・2級程度の漢字能力を身につけさせ、希望者には今年度中の資格取得につなげる。 ②語句や漢字を調べる習慣を身につけ、語彙を増やす。 ③現代文の、評論及び小説に関する問題を解く力を身につける。 ④図書館と連携して読書に取り組みせたり、受験に向けた自習場所の提供をすることで自主学習に取り組ませる。 ⑤600字以上の作文や、800字以上の小論文を抵抗なく書く力を身につけさせる。</p>	<p>※教科会にて下記の指導方針を確認した。</p> <p>①引き続き、漢字の学習に取り組ませる。3学年では入試対策用の問題集を使用し、入試に対応した力をつける。 ②現代文において、3学年にふさわしい評論文や小説を幅広く選択するとともに、入学試験などにも充分対応出来るようにする。</p> <p>③小論文対策として、生徒の具体的な進路希望に合わせた担当を決め個別に指導していく。また、小論文模試を希望者向けに2～3回実施する。</p> <p>④夏休みには、入試対策用の各種講習会を国語科で実施する。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			